

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
2年後期	2	2	必修
担当教員			
松本 美紀			
添付ファイル			

講義概要	社会資本として各種公共事業を実施する上で必要となる計画論について、その基礎的な理論や立案方法、また計画論の実践に必要とされる行政計画（国土計画、都市計画、地区計画）について学ぶ。本講義では、計画学の基礎理論について講義し、問題解決能力に不可欠な計画案を作成するプロセスとそれにかかわる契約や法制度などを含めた基本的な概念を理解した上で、グループディスカッション等を通して計画案を模擬的に作成し、知識と実践力の向上を目的としている。		
授業計画	第01回	ガイダンス ・土木工学における学問上の位置づけと、土木工学科カリキュラムにおける位置づけの説明 ・社会資本整備における計画の重要性について概説する。 (AL1)	
	第02回	土木計画の定義と基本要素 ・土木計画の定義と役割を学び、土木計画の基本について理解する。 (AL1)	
	第03回	土木計画の手順 ・問題の明確化及び計画の目的、目標の設定、現状把握と将来予測の方法を学び、土木計画の手順を理解する。 (AL1)	
	第04回	計画課題の発見と整理 ・計画課題の発見とその解決に向けて、地域住民等ステークホルダーの意識構造の把握に基づく計画課題の整理の仕方を学ぶ。 (AL1)	
	第05回	計画における代替案の作成 ・計画の代替案の作成手順や、その発想、戦略的計画等の立て方を学ぶ。 (AL1)	
	第06回	計画の評価 ・土木計画の評価について理解し、費用対効果や環境影響評価などの評価方法について学ぶ。 (AL1)	
	第07回	市民参画と社会実験 ・社会資本整備事業における市民参画の方法について学ぶとともに、合意形成やワークショップなどの方法を理解する。 (AL1)	
	第08回	国土計画 ・国土づくりの基本的な指針である国土計画について、国土の将来像や課題等を学び、国土交通省や県庁の行政の仕組み等について理解する。 (AL1)	
	第09回	都市計画 ・都市の基本計画やコンパクトシティなどの政策的計画を、都市交通や土地利用などの理論から学ぶ。 (AL1)	
	第10回	地区計画 ・法定地区計画及び自治体まちづくり条例に基づく地区計画などの、地区レベルの計画に必要な基礎的な概念や手法を学ぶ。 (AL1)	
	第11回	都市交通計画 ・都市や地域において生じている交通課題を理解した上で、都市の公共交通計画や道路交通計画の基本的な手法を学ぶ。 (AL1)	
	第12回	地区交通計画 ・地区内の安全・安心・快適な移動を実現する人を中心とした地区交通計画の手法や具体的な適用事例を学ぶ。 (AL1)	
	第13回	交通まちづくり ・交通まちづくりの基本的な考え方や手法を学ぶとともに、地域における交通まちづくりの実践例を理解する。 (AL1)	
	第14回	土木計画学の実践 ・社会資本整備事業の事例を基に、模擬的に土木計画の立案をグループワークで検討する。 (AL5)	
	第15回	土木計画学の実践のとりまとめ ・模擬的に立案した各グループの計画案について討議し、講師よりフィードバックする。 (AL6)	
	第16回	定期試験	

授業形態	・板書および解説による講義（対話方式） ・グループディスカッションと統合討議 講義・演習 アクティブラーニング：①：13回，②：0回，③：0回，④：0回，⑤：1回，⑥：1回
達成目標	・土木計画学の基礎的な理論を理解し、地域の課題解決能力に不可欠な、土木計画案を作成する方法を習得する。
評価方法・フィードバック	・期末試験（60%）、グループでの活動状況（20%）、提出物等（20%）とする。これらを統合し、100点満点で評価する。 ・原則として、課題等のフィードバックは次回以降の授業内で実施する。
評価基準	秀(90点以上)，優(89～80点)，良(79～70点)，可(69～60点)，不可(59点以下)
教科書・参考書	教科書：図説 わかる土木計画学、新田保次、学芸出版社
履修条件	無し
履修上の注意	無し
準備学習と課題の内容	地域のまちづくりでは様々な土木計画が立案され、実行されている。年度更新される自治体の計画案等の情報をホームページ等で確認するよう心掛ける。（毎回、予習復習それぞれ1.5時間程度）
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解:50%, 思考・判断:20%, 関心・意欲:10%, 態度:10%, 技能・表現:10%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	